

<金標準、ドル不信、地政学的なリスクで更なる高値へ・・・>



(出所：オアシス)

クリスマスが終わり、2025年も最後の週となる。今年の金価格はドル建てで70%の上昇を見せ1979年以来の上昇率を見せている。また金標準先物でも75%の上昇を行っており、稀に見る値上がりを見せた年になる。特にトランプ大統領の再選から関税問題を受けた国際的な秩序の崩壊でリスク逃避の需要が高まり、FRBの独立性に対する圧力など、ドル不信を招く動きを強めている。特に来年は、現在のパウエルFRB議長の任期が6月で満期を迎える事から、トランプ大統領は自分の考えを忠実に守る人選を行っており、どの人材がFRB議長に任命されてもFRBの独立性は守れない事からもドルの信認は低下する動きと見られ、金への逃避は続く可能性を秘めている。また米国軍に伴う南米ベネズエラの海上閉鎖は、同国の原油タンカーの拿捕にまで発展しており、米国陸軍の侵攻に結び付く可能性が高まりを示すなど、地政学的なリスクが更に逃避の金価格を下支えする値動きを見せている。そのため2026年も更なる高値を目指す値動きに思える。

<テクニカル>

金標準先物の日足のMACDでは、MACDが切り上げ、シグナルも上昇を示している。RCIは短期と長期が高止まりを見せている。特に日足が指標平滑移動平均線のレンジを維持しながら高値追いを見せており、更なる高値追いの動きに注意が必要に思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に關し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取 2,076,000 円(2025 年 12 月 29 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 126,720 円(2025 年 12 月 29 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間: 平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>